

旧上瀬谷通信施設における 基盤整備等の状況について

- 1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方
- 2 GREEN×EXPO 2027に向けた工事の進捗
- 3 新たな桜の名所づくりについて

- 1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方
- 2 GREEN×EXPO 2027に向けた工事の進捗
- 3 新たな桜の名所づくりについて

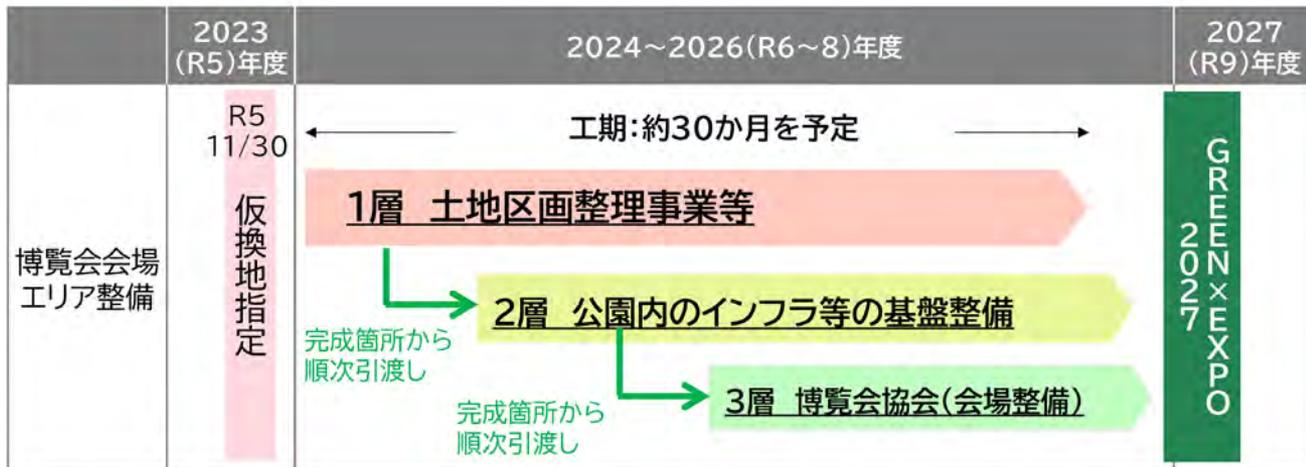
1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方

【GREEN×EXPO 2027の会場整備の進め方イメージ】

- 整備は3層構造で進めており、
1層目は土地区画整理事業、
2層目は公園内の基盤整備、
3層目は博覧会協会による会場
整備となっています。



- また、1層目の工事が完成した箇所から、2層目、3層目の工事に順次引き渡すとともに、周辺道路の整備を進め、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて工事が確実に完了するよう連携して進めています。



- 1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方
- 2 GREEN×EXPO 2027に向けた工事の進捗**
- 3 新たな桜の名所づくりについて

2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(1) 土地区画整理事業（1層目）及び周辺道路等の整備

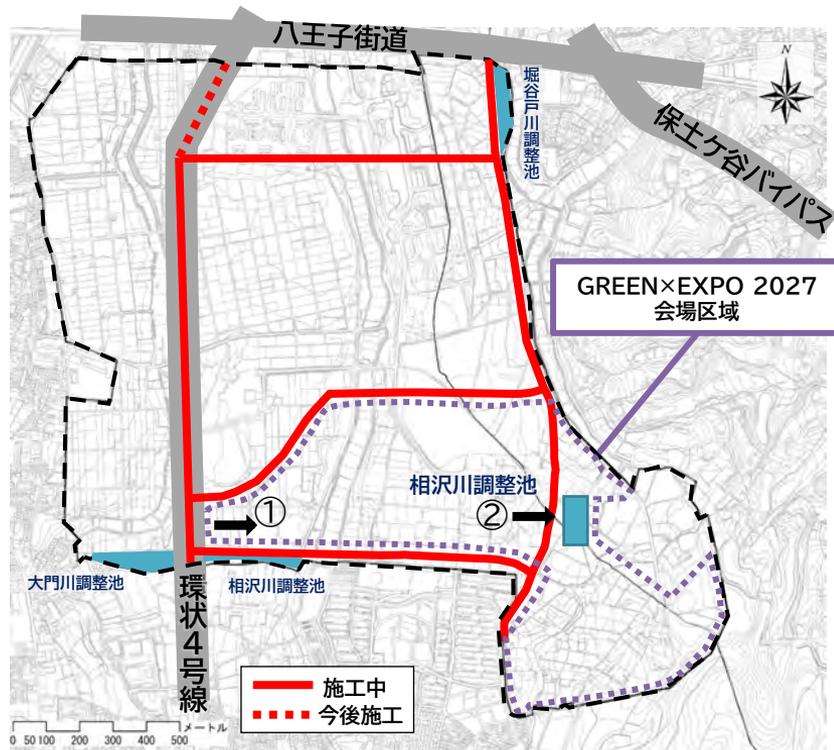
ア 土地区画整理事業の工事

- ・GREEN×EXPO 2027会場整備に向けて、道路・上下水道の整備を進めるとともに、整地工事を行っています。
- ・また、河川への雨水流出量を制限する治水対策を目的とした調整池の工事に着手しました。
地下に整備する相沢川調整池では、地盤改良工事を進めています。

【①道路・上下水道の整備】



【②相沢川調整池の地盤改良工事】



2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(1) 土地区画整理事業（1層目）および周辺道路等の整備

イ 周辺道路の整備①

- 八王子街道では、国道246号から上川井IC付近までの約2.8kmのうち、約1.3kmは拡幅整備が図られています。残りの約1.5kmのうち用地取得が完了した約1.1kmにおいて、順次工事に着手しています。引き続き用地取得を進め、早期に全線4車線化を図り、円滑な通行を確保します。

【③上川井IC出口 拡幅工事完成】



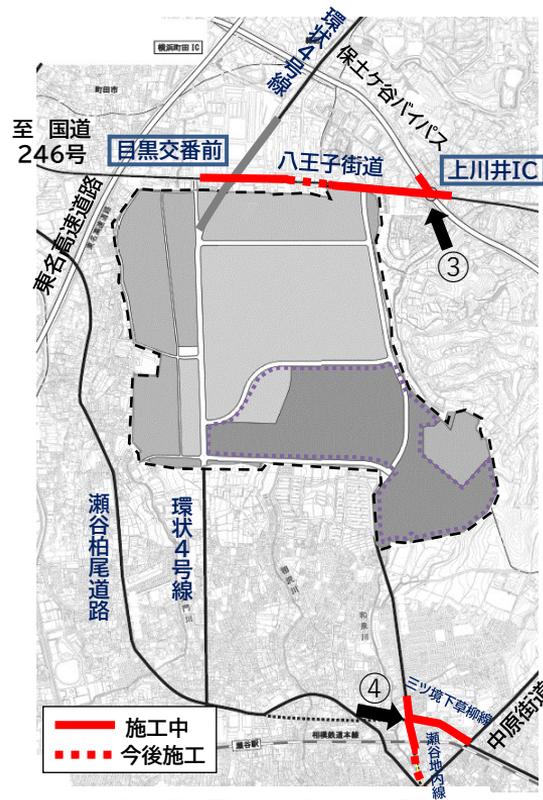
- 保土ヶ谷バイパス上川井IC出口（横浜方面）を1車線から2車線に拡幅する工事が8月に完了しました。

- 瀬谷地内線は、相模鉄道アンダーパス部の本格着手に向けて、準備工事を進めています。

【④三ツ境下草柳線 整備状況】



- 三ツ境下草柳線は、都市整備局において土地区画整理事業による工事を進めており、令和7年度には舗装工事が完了する予定です。



【上瀬谷周辺の道路整備箇所】

2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(1) 土地区画整理事業（1層目）および周辺道路等の整備

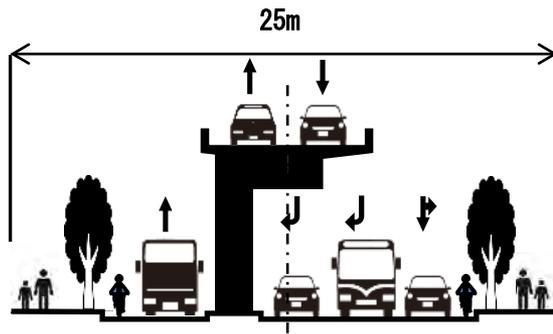
イ 周辺道路の整備②

- ・環状4号線目黒交番前交差点の立体化に伴う橋りょう基礎工事を10月から着手します。橋りょう製作・架設工事については、第3回市会定例会における契約議案の審議状況を踏まえ、着手を予定しています。
工事期間中は、安全に留意するとともに、特に交通量が多く渋滞の原因となっている十日市場方面からの右折レーンを常に確保します。
また、橋りょう架設工事など大規模な交通規制を行う場合は、交通量の少ない夜間に作業を行います。

【⑤環状4号線立体化の完成イメージ】



【⑤標準断面図】



【上瀬谷周辺の道路整備箇所】

2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(2) 公園整備 (2層目)

GREEN×EXPO 2027の会場区域では、樹木の植栽や、相沢川・和泉川における生物の生息環境の整備を進めています。

ア 樹木の植栽

- ・ 既存樹木の移植や、新たな樹木の植栽工事を進めています。

【既存樹木の移植】



【新たな樹木の植栽】



2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(2) 公園整備 (2層目)

イ 相沢川の整備

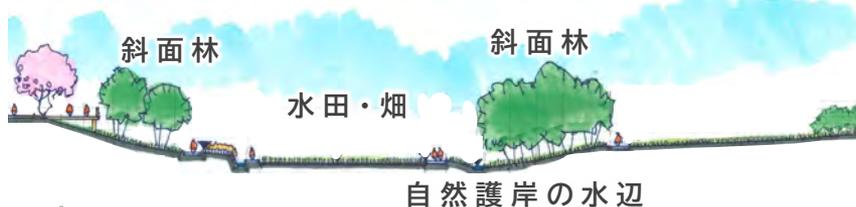
- ・自然護岸の水辺や湿地、草地や樹林地など、多様な生物の生息環境を整備し、谷戸の原風景の再生に向け整備を進めます。

○相沢川の谷戸地形

【⑥平面イメージ】



【⑥断面イメージ】



2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

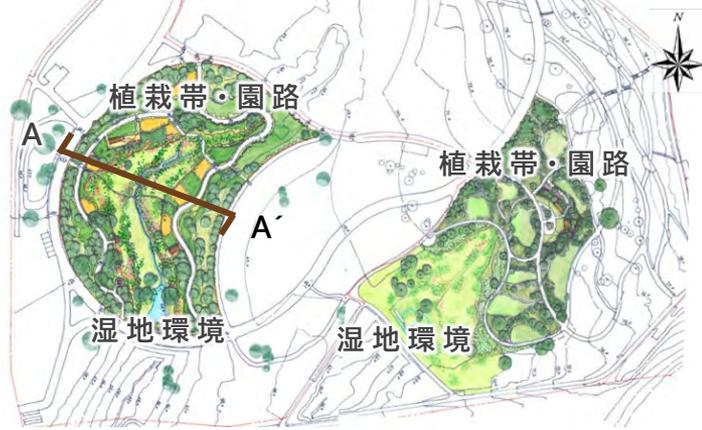
(2) 公園整備 (2層目)

ウ 和泉川の整備

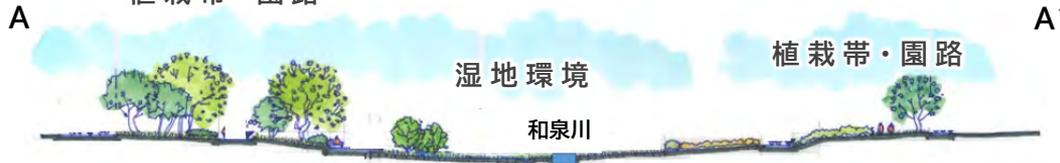
- ・ 生物の生息環境が豊かな和泉川の源流部や湿地環境の現況を生かし、周囲に植栽帯を整備して里山景観を創出します。

○和泉川の源流部

【⑦ 平面イメージ】 【⑧ 平面イメージ】



【断面イメージ】



2 GREEN×EXPO 2027に向けた進捗

(3) 2027年国際園芸博覧会協会による会場整備 (3層目)

- GREEN×EXPO 2027会場計画の具体化に向けて、博覧会協会が取組を進めており、10月からその基盤となる給水設備、排水設備、電気設備等の工事に先行的に着手します。



【Urban GX Village】



【Craft Village】



【Farm & Food Village】



【Kids Village】



【SATOYAMA Village】



【GREEN×EXPO 2027の会場図イメージ】

- 1 GREEN×EXPO 2027会場整備の進め方
- 2 GREEN×EXPO 2027に向けた工事の進捗
- 3 **新たな桜の名所づくりについて**

3 新たな桜の名所づくりについて

現状と今後の予測

3 新たな桜の名所づくりについて

海軍道路の桜並木の経緯

- 海軍道路(約2,850m)には、昭和50年代に桜が植樹され、40年以上が経過

昭和51年頃
(1976年頃)

海軍道路の南側に桜(ソメイヨシノ)を植樹
(植樹から48年が経過)

昭和57年頃
(1982年頃)

海軍道路の北側に桜(ソメイヨシノ)を植樹
(植樹から42年が経過)

平成13年以降
(2001年以降)

樹木診断を本格的に開始
平成24年以降は毎年実施



3 新たな桜の名所づくりについて

樹木診断による判定方法

- 歩行者の命を守り、車等への被害を防ぐため、日常点検に加え、街路樹診断等マニュアルに基づき樹木診断を実施

樹木診断の方法

- (一財)日本緑化センター認定の樹木医が基準に基づき診断
- 目視と診断器具により、樹木の外観を調査し、カルテを作成
- カルテの内容に応じて機器診断を実施

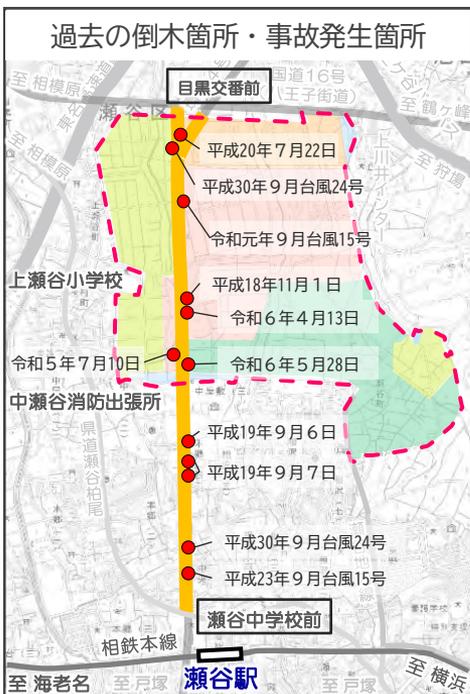


判定	各判定の例	基準
A 健全か健全に近い		異常なし
B1 注意すべき被害が見られる	 根の腐朽 幹の腐朽	幹や根の腐朽の進行が予測される
B2 著しい被害が見られる	 根の腐朽 幹の傾斜	腐朽が進行
C 不健全	 バッコウタケ →根株内部の腐食 空洞化	腐朽が著しく、倒木の危険があり回復の見込みなし

3 新たな桜の名所づくりについて

海軍道路の桜並木の現況

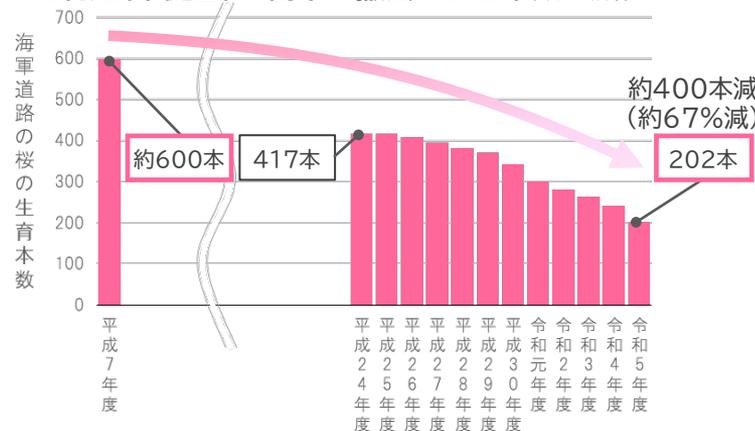
- 海軍道路の桜は、年々健全木が減少し、落ち枝や倒木が発生するなど不健全な状態が見受けられ、平成24年度から樹木診断を毎年実施
- 倒木やC判定(不健全)の樹木の撤去により、本数が減少



年月日	概要
平成18年11月1日	枝が落下して、自動車に接触、破損
平成19年9月6日	強風により倒木し、自動車に接触、破損
平成19年9月7日	強風により倒木し、自動車に接触、破損
平成19年9月7日	強風により倒木し、自動車に接触、破損
平成19年9月7日	強風により倒木し、自動車に接触、破損
平成20年7月22日	枝が落下し、自動車に接触、破損
平成20年7月22日	枝が落下し、自動車に接触、破損
平成23年9月21日	台風15号による倒木
平成30年9月30日	台風24号により枝が落下 (B1)
平成30年9月30日	台風24号による倒木 (B1)
令和元年9月13日	台風15号による倒木 (B2)
令和5年7月10日	強風により枝が落下 (B1)
令和6年4月13日	強風により枝が落下 (B1)
令和6年5月28日	強風により枝が落下 (B2)



倒木やC判定(不健全)の樹木の撤去による本数の減少

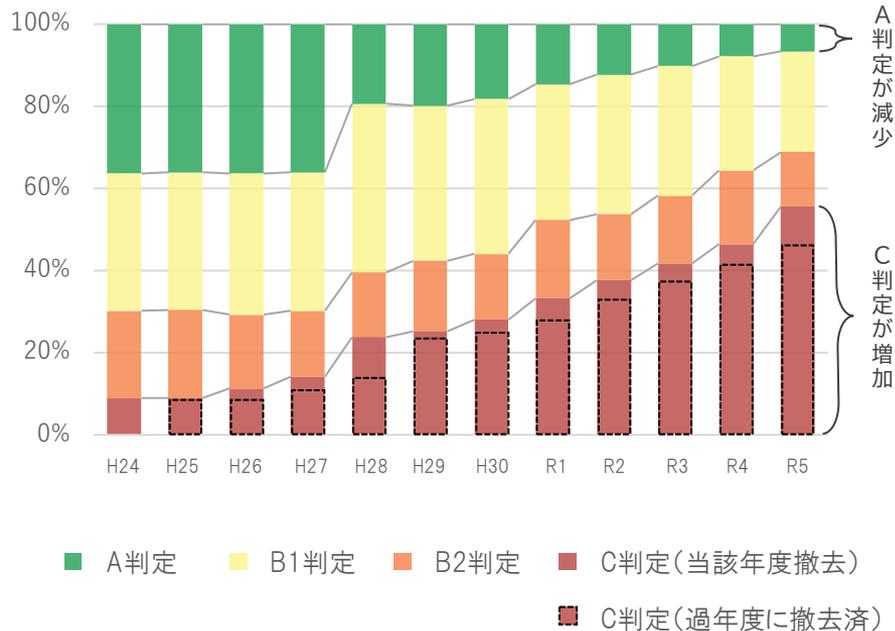


3 新たな桜の名所づくりについて

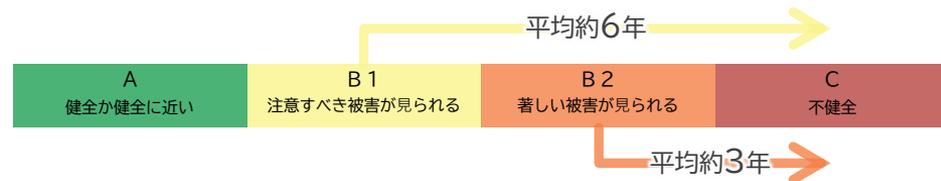
樹木診断の健全度判定の推移

- 年々、A判定の樹木が減少し、C判定(不健全)が増加 倒木の危険性が高いC判定の樹木を順次撤去
- C判定(不健全)に至る期間は、B1判定後は平均約6年、B2判定後は平均約3年

樹木診断を開始した平成24年度以降の健全度判定の割合



C判定(不健全)への平均移行年数の分析



※A判定が急速に減少し始めた平成28年度以降の樹木診断結果を基に算出

健全度判定と撤去の推移(令和3～令和5年度)

総合判定 \ 年度	R3	R4	R5
A判定	46本	34本	28本
B1判定	145本	130本	114本
B2判定	74本	78本	60本
計	265本	242本	202本
C判定(当該年度の撤去本数)	17本	23本	40本

3 新たな桜の名所づくりについて

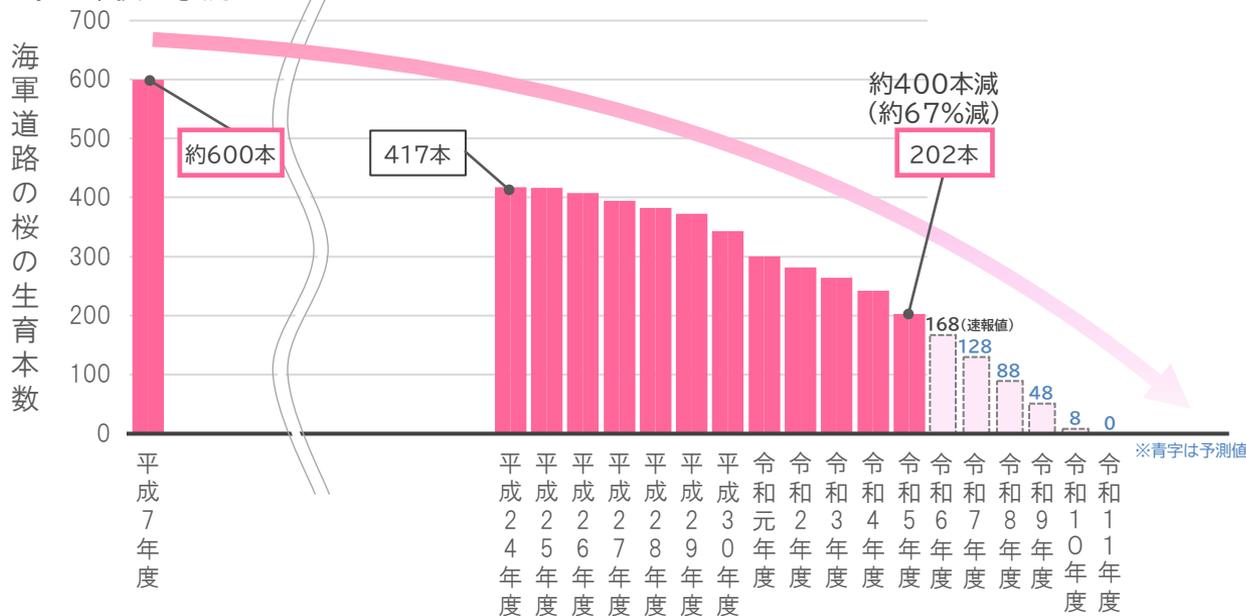
海軍道路の桜の予測

- 倒木やC判定(不健全)の樹木を撤去した結果、平成7年度に約600本あった桜が、令和5年度に202本まで減少(約67%減)
- 病害虫などに弱いソメイヨシノが年々減少しており、今後5年程度で桜並木の消滅が予測される

海軍道路の桜の状況



桜並木の今後の予測



植樹からの
平均年数

16年

33年

40年

44年

※南側を植樹した昭和51年頃、北側を植樹した昭和57年頃の中間の昭和54年を起点に算出

3 新たな桜の名所づくりについて



新たな桜の再生に向けてのスタート



3 新たな桜の名所づくりについて

- 長年地域の象徴であった桜並木を次世代につなげるため、桜並木の再生に向けてスタート

現状・予測

- 植樹後40年以上が経過し、健全木が減少
- 台風で落ち枝や倒木が発生するなど、危険度が増加
- 今後加速度的に減少し、5年程度で消滅が予測される



市民生活や人命を守る

- 近年の異常気象による集中豪雨や台風などにより倒木の危険性が高まっている



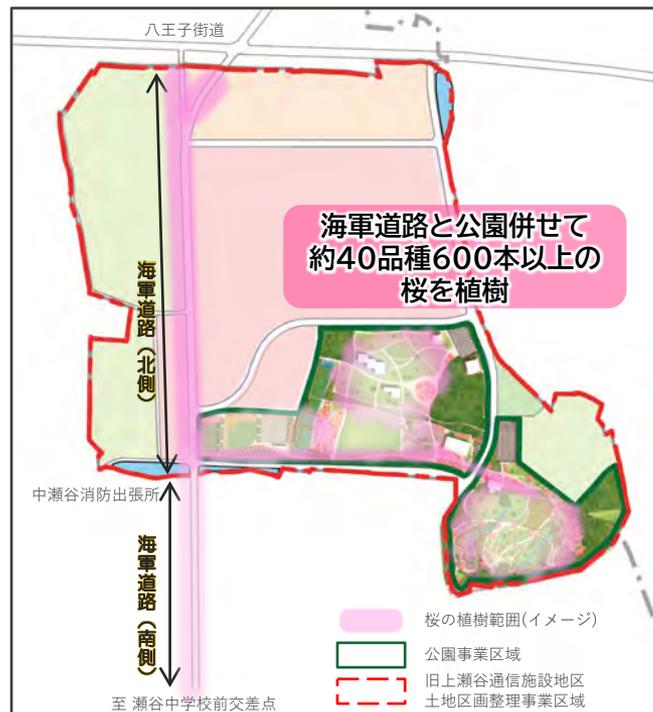
地域の象徴である桜の継承

- 長年地域の象徴であった桜並木を次世代につなげる



桜並木の再生に向けてスタート

新たな桜の再生イメージ図



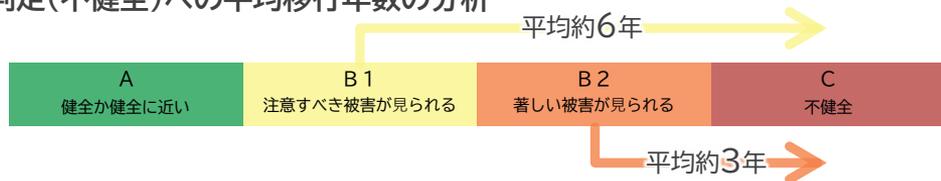
3 新たな桜の名所づくりについて

新たな桜の再生に向けた取組 (1)

複数の専門家による客観的な樹木診断の中で、倒木の危険性の有無についても診断し、移植や植替えを進めていく

- A判定の約11本～15本は、診断結果を踏まえ、できるだけ新たな公園へ移植
- 腐朽の進行が予測されるB1判定の約50本～73本の樹木は、診断結果を踏まえ、倒木の危険性がないものを公園へ移植
- 腐朽が進行しているB2判定の樹木は、診断結果により移植に耐えられる樹木を除いて、倒木の危険性があるため順次植替え

C判定(不健全)への平均移行年数の分析



※A判定が急速に減少し始めた平成28年度以降の樹木診断結果を基に算出

健全度判定と撤去の推移・予測

総合判定 \ 年度	R3	R4	R5	R6 (速報値)	R7 (予測値)	R8 (予測値)
A判定	46本	34本	28本	19本	約15本	約11本
B1判定	145本	130本	114本	89本	約73本	約50本
B2判定	74本	78本	60本	60本	約40本	約27本
計	265本	242本	202本	168本	約128本	約88本
C判定 (当該年度の撤去本数)	17本	23本	40本	34本	約40本	約40本

倒木の危険性

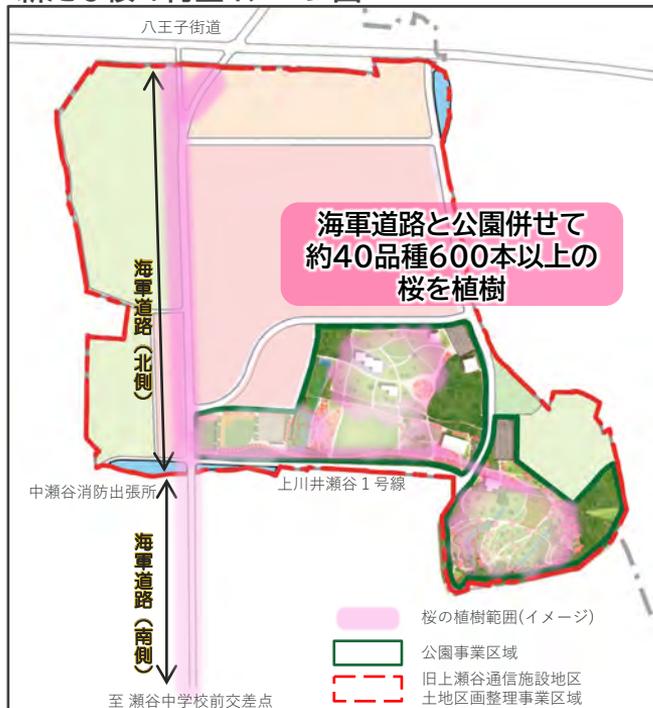


3 新たな桜の名所づくりについて

新たな桜の再生に向けた取組 (2)

- 開花時期や花の色がソメイヨシノに近く、病害虫などに強く安全度が高い「コシノヒガン」で海軍道路の桜並木を再生
- 海軍道路の桜を、順次植替えて再生するとともに、新たな公園に多くの桜を植樹

新たな桜の再生イメージ図



海軍道路の桜の植替え



新たな公園に桜を植樹



GREEN×EXPO開催時の
海軍道路の桜並木のイメージ



3 新たな桜の名所づくりについて

将来像

海軍道路の桜並木の歴史を継承し想いを未来へつなぐ
平和の象徴として親しみ愛される新たな桜の名所づくり

- 1 平和を祈念して植樹された桜並木を移植し次世代につなげる
- 2 海軍道路の桜並木から新たな公園まで咲き広がる名所をつくる
- 3 地域の象徴である桜を新たな形で再生する